

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科	
科目名称	言葉と文章						授業形態		
科目コード	111640	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング
担当教員名	藺田 潤子								
授業概要	<p>社会人として必要な知識や知恵、コミュニケーションは、すべて言葉で成り立っている。言葉を幅広く正しく理解し、使いこなし、伝達することは、社会人として生きていくための基本的な能力である。</p> <p>この授業では、言葉を様々な側面から学ぶことによって、言葉の大切さ、興味深さを理解してもらい、言葉や文章への関心、感受性を高めることを目指す。さらに、コミュニケーションスキルを含む全般的な言語能力の向上を図る。</p>								
関連する科目									
授業の進め方 と方法	<p>講義前半で、課題の発表を行なう。知らなかった単語の意味や由来、使用例をプレゼンテーションしてもらおう。後半の講義は、学生に順々に指名し答えてもらいながら、一問一答形式で、進めていく。</p> <p>内容を把握し、整理する力を養うために、講義内容は自分のノートにメモするよう指導する。講義終了前に、その日の授業を、数人の学生に要約発表してもらおう。</p>								
授業計画 【第1回】	<p>第1回 言語とは何か ヒトが進化の過程で、どのように言葉を手に入れたのか、乳児がどのように言語習得をするのか、を学び、言語が人間にもたらす意味を考える。</p>								
授業計画 【第2回】	<p>第2回 世界の言語を比較する 様々な国の言語と日本語を比較しながら、その特徴を理解する。</p>								
授業計画 【第3回】	<p>第3回 日本語の歴史 日本語で使われる漢字はどのように伝わり、ひらがな、カタカナはどのように生まれたか。 日本語の文字の歴史を学ぶ。</p>								
授業計画 【第4回】	<p>第4回 日本語の音声的特徴 英語や、他の外国語と比較しながら、日本語の音としての特徴を学び、日本語の正しい発音発声の基礎を理解する。</p>								
授業計画 【第5回】	<p>第5回 日本語音声表現の基礎 聴きやすい声とは何か、そのメカニズムを学び、声と発音の訓練方法を体験する。</p>								
授業計画 【第6回】	<p>第6回 方言について 各地の方言と、その分布の特徴を学び、言葉がどのように広がっていくのかを理解する。 学生に故郷の方言を紹介してもらおう。</p>								
授業計画 【第7回】	<p>第7回 朗読の基礎 音読の効用を理解し、あらゆる文章を音読し人に聴かせる際の、基本的な技術を学ぶ。</p>								
授業計画 【第8回】	<p>第8回 小説と作家の文体 小説とは何かを、小説を書く立場から分析する。 文豪と呼ばれる作家経歴と代表作品を学び、その文章を比較することで文体の違いを感じ取る。</p>								
授業計画 【第9回】	<p>第9回 日本語のニュアンス 似ているが少し意味や用法の異なる二つの単語（名詞、動詞、形容詞、助詞など）を比較し、 文法上、意味上、どのような違いがあるかを考察する。</p>								
授業計画 【第10回】	<p>第10回 短歌の世界 万葉の時代からの短歌の歴史をたどり、その時代時代の名歌を鑑賞する。 学生には課題として、短歌を作ってもらおう。</p>								
授業計画 【第11回】	<p>第12回 俳句の世界 俳句成立の歴史を理解する。 芭蕉、子規の人物像を知り、その代表的な俳句を学ぶとともに、それ以降、現代俳句に至るまでの名句を鑑賞する。 学生には課題として、俳句を作ってもらおう。</p>								

授業計画 【第12回】	第12回 コミュニケーション力をつける コミュニケーションの基本でもある聞くことの大切さを理解し、実際に聞くときに大切な心構えや技術を学ぶ。
授業計画 【第13回】	第13回 敬語の基礎 尊敬語、謙譲語など敬語の基礎を習得する。 実際の場面でどのように使うかを学ぶとともに、間違いやすい敬語の用例を理解する。
授業計画 【第14回】	第14回 敬語とマナー 社会人として、ビジネスの現場で必要となる言葉使いやマナーを学ぶ。
授業計画 【第15回】	第15回 スピーチとプレゼンテーション スピーチとプレゼンテーションの違いを理解し、スピーチのコツと、プレゼンテーションで注意すべきことを学ぶ。
授業の到達目標	
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)
授業時間外の学修 【予習】	知らなかった単語をピックアップし、その単語の意味、由来、用例などを調べ、発表できるようにする。(30時間程度) 授業の際に、次回の課題を提示するので、それを調べまとめる。(1時間程度)
授業時間外の学修 【復習】	授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。(1時間程度)
課題に対する フィードバック	定期試験を実施し、試験後に解説する。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 定期試験(70点) 2) 授業内の課題のプレゼンテーション(30点)
テキスト	
参考書	
備考	現役アナウンサーを、45年間続けている。「いかにわかりやすく、人に言葉を伝えるか。」「人に話を聞く時の基本は。」など仕事の経験を通して得た、技術や知識、心構えなどを、授業に取り入れ、社会人として必要なコミュニケーションスキルの向上を図る。 また、22年間、朗読者として、東京と宮崎で、舞台公演をおこなっている。 日本語の魅力、文芸作品の奥深さなどを紹介し、言葉に対する感受性を高める。 英語の資格試験を取得し、10年間にわたり英語の通訳として活動していた経験を持つ。 日本語と英語や他の言語との比較を行いながら、外国語や海外に対する興味関心を高める。